

授業と評価の年間計画

教科	芸術	科目	美術 I
使用教科書(発行所)	美術 1 (光村図書出版)		
履修条件 対象生徒	選択必修 普通科・理数科 1年		
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。		
学習方法	<p>1 表現活動では、絵画・彫刻・デザインなど、幅広い領域の制作に挑戦し、作者がそれぞれの個性を伸ばしていく。また鑑賞活動を通して、お互いのよさを認め合い、感性を高め合えるようにする。</p> <p>2 地域に根差した美術文化について理解を深めるために、郊外での鑑賞活動を取り入れる。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 期末考査まで</p> <p>ア 絵画 (テーマ作品「私の心/美」)</p> <p>イ 鑑賞 I</p> <p>① 過去の名作から学ぼう</p> <p>② 友人の作品から汲み取ろう</p> <p>ウ ビジュアルデザイン</p> <p>① ビジュアルデザインの基礎 (色彩演習)</p> <p>② 各種ポスター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術とはこうあるべき」という無意識の固定概念を疑い、時に破壊し、制作を通して新たに創造していくことで、感性を伸ばし表現の柔軟さを養う。 ・美術作品の表現の工夫や、美術文化などを理解し、作者のねらいや思いを汲み取る力を養う。 ・3原色を使用し、特殊な12色相環を作成することで、デザインの目的や色の構成を論理的かつ創造的に学ぶ。 ・カラーユニバーサルデザインの視点から日常生活における問題点に気づき、解決策を考察する。 ・文字や色彩など、デザインの基礎を学び、それぞれのメッセージに沿った作品制作を行う。 	
	<p>2 2学期</p> <p>(1) 期末考査まで</p> <p>ア 素描</p> <p>① 鉛筆グラデーション</p> <p>② 自画像(細密/構成細密)</p> <p>イ 塑像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の顔や体の造形的特徴を見抜き、鉛筆の豊かな濃淡を用いて描き込んでいく。観察力や描写力を養う。また、外見を丁寧に見つめることを通じて自己の内面も見つめる。 ・自らが作りたいと思うものを、資料(実物や頭の中の設計図)を見ながら“リアル”に制作していく。 	
	<p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末考査まで</p> <p>ア その他の彫刻及び立体造形 (グループ制作)</p> <p>イ 鑑賞 II 「美術館に行こう」</p> <p>ウ 1年間のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で作った塑像作品を持ち寄り、テーマを共有したジオラマを作成する。個性と個性の響き合いが生み出す新たな発想力や感性を養う。 ・愛媛県美術館やNHKアートギャラリーで高校生の作品などを鑑賞する。 ・教科書作品などから美術の大まかな流れを学び、今後の学習活動につなげる。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養っている。
評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価規準をもとに、授業に対する取組や作品などを総合的に判断して評価する。		
その他	年度初めにアクリル絵の具セット及びスケッチブックを購入する。		